

四極会 寄附講義「会社研究」令和3年度 第15回目

令和3年7月28日(水) 13時10分

講師 大分大学経済学部同窓会 一般財団法人「四極会」会長

国立大学法人大分大学理事

(法務・コンプライアンス、地域連携担当)

石川 公一 (経済学部昭和40年卒 13回生)

テーマ 「後輩たちへのメッセージ」



本年度最後となる寄附講義であり、「はじめに」、「第1 自治体職員39年間の“軌跡” “私の履歴書(1)”」、「第2 APU 立命館アジア太平洋大学、大分大学の10年間 “私の履歴書(2)”」、「第3 「仕事・職業」について」、「おわりに」の項目で講義がありました。(オンライン講義)

石川会長の熱いメッセージが、学生諸君の心にも響いたのではないかと思います。

その言葉を次のとおりご紹介いたします。

○大分大学経済学部について

- ・わが母校を愛し、わが母校を誇りとしてほしい。

来年は、大分大学経済学部創立100周年を迎える。様々な記念行事を実施することとしており、その一環として、今年、9月から、「経済トップセミナー」を開催することとしている。学生諸君も関心をもって、機会があればぜひ参加してほしい。

四極会のホームページにも掲載しているので、アクセスしてみてください。

- ・最近、女子学生の数がかなり増えてきている。(令和2年度経済学部入学者数295名中110名) 四極会においては、平成30年2月7日女性部会を設立した。会員は約140名である。女子学生も、卒業後も引き続き、ぜひ母校や四極会に関心を持ってください。

○仕事について

- ・仕事をするにあたっては、今の世の中を俯瞰しておくことが必要である。私からみんなに贈るキーワードは次のとおりである。(～の部分)

～少子化、高齢化、人口減少化の進行と「2040年」問題、分権改革の進展と市町村合併、「地域間・大競争」時代～

～SDGs、Society 5.0、高度情報社会、インターネット社会の到来、IoT、AI、「第四次産業革命」～

～情報公開の進展と「説明責任」「法令や(倫理、道徳規範をも含む)社会規範の遵守」と「コンプライアンス」確立の時代～

～“新型コロナウイルス”のパンデミック、その感染拡大防止への対処から見てきた、いま、国、地方を問わず問われている、新しい「危機管理」、新しい「国と地方」との関係、新しい「リーダーシップ」の在り方～

- ・日の当たらぬところでもコツコツやっていると、きっとどこかで誰かが見ている。腐ることは決してない。とにかく、コツコツすることが大事。

- ・高々5年、10年のスパンで物事をあきらめるな。長い目で見て仕事をするこ
と。
- ・今日できることは明日に伸ばすな。今日できることは今日のうちに解決する
こと。
- ・「先例」、「横並び」、「縦割り」は、やめること。
- ・問題を知った時には、決して先送りにはしないこと。「俺がやらんで誰がする」
との気概を持て。また、問題の解決に当たっては、まず、原点に立ち返れ。
- ・“悪いこと、間違っていること”について、“悪い!間違っている!”と上司
や組織に言う勇氣を持て。
- ・現実的なアドバイスをひとつ、まず、得意技を持つこと。

○人生の「目標」、人生の「目的」について

- ・大学1年の10月くらいにもなると、「私は何々になりたい」という人生の目
標は決められるはずだ。早めに進路を決めて、進路を決めたらそれを徹底し
て追求すること。
- ・しかしながら、「人生の目的」とは何か。それはどんなに辛いことがあっても
生きること。生き続けること。生きていれば、きっといいことが来る。生きる
ことの意味を考えよう。